

衆議院予算委員会ニュース

平成 20.2.25 第 169 回国会第 13 号

2 月 25 日、第 13 回の委員会が開かれました。

1 分科会設置に関する件

- ・平成 20 年度総予算審査のため、8 個の分科会を設置することに協議決定しました。
- ・分科会における会計検査院当局の出頭要求について協議決定しました。
- ・分科会における参考人出頭要求について協議決定しました。

2 平成 20 年度一般会計予算

平成 20 年度特別会計予算

平成 20 年度政府関係機関予算

- ・増田総務大臣、鳩山法務大臣、額賀財務大臣、渡海文部科学大臣、舛添厚生労働大臣、若林農林水産大臣、甘利経済産業大臣、冬柴国土交通大臣、鴨下環境大臣、石破防衛大臣、町村国務大臣（内閣官房長官）大田国務大臣（経済財政政策担当大臣）森山財務副大臣、池坊文部科学副大臣、西川厚生労働副大臣、岸厚生労働副大臣、今村農林水産副大臣、平井国土交通副大臣、金子国土交通大臣政務官及び政府参考人並びに参考人伊東敏朗君に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

杉 浦 正 健君（自民）

- ・民主党マニフェストでは消費税を全額年金基礎部分に投入するとしているが、現在の消費税総額はいくらか。この差を埋めるため年金給付を圧縮するにはどのような方法があるか。また消費税の地方分がなくなることによって地方財政にどのような影響があるか。
- ・子ども手当に関する民主党案と現行制度との間で必要な経費はどのくらい異なるか。
- ・農家の個別所得補償制度が食料完全自給、農業の多面的機能の確保等の達成に役立つか。
- ・特殊法人、独立行政法人、特別会計等の原則廃止に関する民主党マニフェストについて財務省の所見を伺いたい。また、いわゆる「埋蔵金」に関する額賀財務大臣の所見を伺いたい。

葉 梨 康 弘君（自民）

- ・食料安全保障、畜産酪農農家の経営安定の観点から輸入飼料用穀物を減らし国内自給率を高めるべきではないか。
- ・いわゆる「埋蔵金」は本来借金返済にあてるべきではないか。
- ・道路の中期計画は素案とはいえ、十分審議され財務省などの意見も反映されているものであると思うが額賀財務大臣はどう考えるか。
- ・今後 10 年間で次の世代のためにどのような社会投資を残していくのか、冬柴国土交通大臣の決意を伺いたい。

西 博 義君（公明）

- ・中国産冷凍食品の農薬混入問題について、全輸入元に検査を要請しているか。中国政府との検疫管理に関する積極的な協議について舛添厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・「食料の未来を描く戦略会議」の提言と今後の農業政策との関連について、また変動する食糧事情に関する情報を収集し政策へ反映することについて若林農林水産大臣の所見を伺いたい。
- ・コメの輸出拡大のための日本食の輸出等の具体的取組目標について若林農林水産大臣はどう考えるか。
- ・学校での米飯給食の推進に関する目標を週 3 回から 4 回に引き上げることにについて渡海文部科学大臣の所見を伺いたい。また、政府米の無償交付制度に関する制約を緩和し、増加分 100%を新米とするなど、推進に熱心なところにメリットがあるようにはできないか。

小宮山 泰 子君（民主）

- ・道路特定財源からも支出している台東区上野広小路駐車場建設工事にかかった 300 億円の総事業費及び追加工事 35 億円は適正なのか、また外部監査するような事例を把握・指導しているのか、冬柴国土交通大臣の見解を伺いたい。
- ・「道路関係業務の執行のあり方改革本部」における見直しはいつになるのか、またどのように計画に反映されるのか示すべきではないか。

吉 良 州 司君（民主）

- ・道路問題に関して、真に必要な道路を厳選し、安いコストで造ることが重要であると考え、冬柴国土交通大臣の見解を伺いたい。
- ・道路建設・維持に関しては、国際競争入札などを柱とした PFI 的発想・手法を利用した入札に改革することについてどう考えるか。

末 松 義 規君（民主）

- ・新型インフルエンザのもたらす危機について舩添厚生労働大臣はどのように認識しているのか。
- ・プレパデミックワクチンの接種対象者が医療従事者、社会機能維持者に限られているが、その効果・安全性にかんがみれば、希望する国民に対してワクチン接種を行う必要があるのではないか。
- ・組織培養を用いたプレパデミックワクチンの製造法の開発を推進していく必要があるのではないか。
- ・現場の医療従事者に対し新型インフルエンザに係る講習や必要な機材の供与がなされていない現状について厚生労働省はどう考えるか、また、これらについて厚生労働省が先頭に立ち医師等と連携して進めていく必要があるのではないか。

笹 木 竜 三君（民主）

- ・鳩山法務大臣がフィリピンの自然保護区内で蝶の採集を行ったとの報道は事実か。
- ・道路の中期計画の最終報告書を、今国会で審議できるように提出を早めるべきではないか。
- ・各都道府県における年金相談の体制を強化するべきではないか。

笠 浩 史君（民主）

- ・護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事故について、なぜ初動が遅れたのか。
- ・幕僚と内局との意思伝達はどうなっているのか。また幹

部は重大な事件との認識をしていたのか。

- ・官邸には捜査・捜索状況の情報が集約されているのか。またこれらが断片的にしか公表されないのはなぜか。

吉 井 英 勝君（共産）

- ・護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事故の原因の真相究明及び国民への情報開示の必要があるのではないかと。
- ・我が国における温室効果ガスの GDP 比の削減が先進国・アジア各国に比べて進んでいない理由は何か。
- ・国内における温室効果ガスの排出規制について、業界の自主行動計画まかせではなく政府・企業間で協定を結ぶなどして企業・事業所ごとの温室効果ガスの排出枠を定めることにより進めていく必要があるのではないかと。
- ・雇用の創出にも資することとなる再生可能エネルギーの普及のため電力の固定価格買取制度を導入する必要があるのではないかと。

重 野 安 正君（社民）

- ・護衛艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事故の原因究明に対して石破防衛大臣はどのような決意を持って臨むか。
- ・西川日本郵政株式会社社長のローソンとの提携に関する発言の意図はどういったものか。
- ・林野庁において林道事業の費用対効果分析の元になったデータを破棄したとする報道は真実か。

糸 川 正 晃君（国民）

- ・護衛艦「しらね」の火災の第一報が入ったのはいつか。またその教訓を護衛艦「あたご」の衝突事故の際に生かせなかったのはなぜか。
- ・鎮火までに約 8 時間もの時間を要したのはなぜか。
- ・私物の家電製品を護衛艦内に持ち込むことは、可能なのか。

3 逢沢委員長から、決算及び平成 20 年度予算の概算要求等に関する予備的調査（中川正春君外 112 名提出、平成 19 年衆予調第 5 号）について、去る 2 月 22 日に、調査局長から報告書が提出された旨の報告がありました。